



平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ベリテ

コード番号 9904 URL <http://www.verite.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) ジャベリ・アルパン・キルティクマル

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO兼管理本部長 (氏名) 米畑 博文 TEL 045-415-8821

定時株主総会開催予定日 平成29年6月27日 有価証券報告書提出予定日 平成29年6月28日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期の業績(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期	8,537	1.8	293	50.9	277	110.2	260	956.2
28年3月期	8,389	△2.5	194	—	132	—	24	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
29年3月期	9.58	—	4.7	3.4	3.4
28年3月期	0.91	—	0.5	1.5	2.3

(参考) 持分法投資損益 29年3月期 一百万円 28年3月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
29年3月期	8,197	5,598	68.3	205.77
28年3月期	8,320	5,480	65.9	201.41

(参考) 自己資本 29年3月期 5,598百万円 28年3月期 5,480百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年3月期	1,101	△78	△510	2,383
28年3月期	928	4	△1,324	1,870

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配 当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
28年3月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—	—	—
29年3月期	5.50	0.00	0.00	0.00	5.50	149	57.4	2.7
30年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	3,870	△2.9	100	19.0	80	33.3	20	122.2	0.73
通期	8,380	△1.8	500	70.6	470	69.7	280	7.7	10.28

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期	27,230,825 株	28年3月期	27,230,825 株
② 期末自己株式数	29年3月期	24,095 株	28年3月期	20,209 株
③ 期中平均株式数	29年3月期	27,209,161 株	28年3月期	27,210,727 株

※ 決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、政府や日本銀行の財政・金融政策により雇用や所得環境は改善し、緩やかな景気回復基調が続きました。しかし、海外情勢の不安定化に基づく為替や株式相場の急激な変動や、天候不順の影響もあり、内需は力強さに欠け企業業績の先行きに不透明感が漂う状況となりました。

このような経営環境下において、当社ではコーポレート・ビジョンとして「Diversity with Brilliance」を掲げ、時代や環境の変化への対応力を高めることを目指し、事業活動を展開してまいりました。

店舗運営面におきましては、FacebookをはじめとしたSNSによる情報発信の強化、既存店舗の改装、各店舗主催による地域展開催、外部各種催事への参加、大手GMSとの協業によるShop in Shop形態である「Velicia」の展開などを通じて、お客様の多様なご要望にお応えしてまいりました。

また、損益面におきましては、仕入ルートの見直しによる原価低減を図ると共に、本社部門のスリム化をはじめとした経費削減に努め、営業損益の改善に取り組んでまいりました。なお、第4四半期において回収可能性の見込まれない固定資産について検討した結果、帳簿価格を回収可能額まで減額し、34百万円を減損損失として計上いたしました。

以上の結果、当事業年度の売上高は8,537百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は293百万円（前年同期比50.9%増）、経常利益277百万円（前年同期比110.2%増）、当期純利益260百万円（前年同期比956.2%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における総資産は、8,197百万円となり、前事業年度末と比べ122百万円減少いたしました。これは主に、商品在庫の減少によるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債合計は、2,598百万円となり、前事業年度末と比べ241百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は、5,598百万円となり、前事業年度末と比べ118百万円増加いたしました。これは主に、当期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は68.3%（前事業年度末は65.9%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末と比べ512百万円増加し、2,383百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動による資金の増加は1,101百万円(前期は928百万円の増加)となりました。これは主に、たな卸資産の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動による資金の減少は78百万円(前期は4百万円の増加)となりました。これは主に、固定資産の取得による支出87百万円並びに敷金及び保証金の差入による支出26百万円があったものの、敷金及び保証金の回収による収入35百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動による資金の減少は510百万円(前期は1,324百万円の減少)となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出380百万円並びに配当金の支払いによる支出125百万円あったことによるものであります。

なお、当社のキャッシュ・フロー指標は、次のとおりであります。

	平成29年3月期	平成28年3月期	平成27年3月期	平成26年3月期
自己資本比率	68.3%	65.9%	56.4%	63.3%
時価ベースの自己資本比率	43.1%	32.7%	36.8%	25.9%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	1.0	1.6	5.6	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	24.2	14.1	8.3	—

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済普通株式総数(自己株式控除後)により算出しております。

※キャッシュ・フローはキャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

※平成26年3月期はキャッシュ・フローがマイナスのため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

(4) 今後の見通し

わが国経済の見通しにつきましては、雇用や所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調を維持するものと期待されますが、経済情勢の不透明感から、個人消費の足踏み傾向が続くと見込まれます。

当社としましては、コーポレート・ビジョンである「Diversity with Brilliance」を忠実に推進し、ジュエリーチェーンのパイオニアとしての豊富な実績を基に、お客様にご満足いただける質の高い接客技術の向上、商品開発力の強化、粗利率の改善などの各種取組みにより、環境の変化に対応できる強固な事業体の構築を目指してまいります。

次期店舗数は、ベリテ 66店舗(4店舗減)、マハラジャ・ダイヤモンド 5店舗、MiMiKaZaRi 1店舗、Velicia 17店舗(1店舗増)を予定しております。

以上を踏まえ、次期の業績は売上高8,380百万円(前年同期比1.8%減)、売上高総利益率56.8%(前年同期比2.0ポイント改善)、販売管理費比率50.6%を予定し、営業利益500百万円(前年同期比70.6%増)、経常利益470百万円(前年同期比69.7%増)、当期純利益280百万円(前年同期比7.7%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当事業年度 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,891	2,394
受取手形	411	420
売掛金	600	505
商品	3,869	3,259
貯蔵品	24	22
前払費用	38	32
繰延税金資産	—	120
未収入金	1	8
預け金	333	344
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	7,170	7,107
固定資産		
有形固定資産		
建物	369	361
減価償却累計額	△214	△226
建物(純額)	154	135
機械及び装置	0	0
減価償却累計額	△0	△0
機械及び装置(純額)	0	0
工具、器具及び備品	413	427
減価償却累計額	△299	△310
工具、器具及び備品(純額)	114	117
土地	97	97
リース資産	24	24
減価償却累計額	△7	△12
リース資産(純額)	17	12
有形固定資産合計	384	362
無形固定資産		
商標権	0	0
ソフトウェア	6	3
無形固定資産合計	6	4
投資その他の資産		
投資有価証券	24	33
出資金	0	0
破産更生債権等	884	868
長期前払費用	22	15
敷金・差入保証金	694	656
繰延税金資産	—	10
その他	29	7
貸倒引当金	△898	△868
投資その他の資産合計	758	723
固定資産合計	1,149	1,089
資産合計	8,320	8,197

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当事業年度 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	411	487
買掛金	350	384
短期借入金	1,480	1,100
リース債務	4	5
未払金	175	213
未払費用	133	135
未払法人税等	74	90
前受金	36	25
預り金	7	7
返品調整引当金	4	5
ポイント引当金	—	32
その他	58	46
流動負債合計	2,736	2,533
固定負債		
リース債務	13	8
長期未払金	65	57
繰延税金負債	0	—
ポイント引当金	24	—
固定負債合計	103	65
負債合計	2,839	2,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,972	3,972
資本剰余金		
資本準備金	1,482	993
その他資本剰余金	1	340
資本剰余金合計	1,483	1,334
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	24	285
利益剰余金合計	24	285
自己株式	△3	△3
株主資本合計	5,477	5,588
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	10
評価・換算差額等合計	2	10
純資産合計	5,480	5,598
負債純資産合計	8,320	8,197

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
売上高	8,389	8,537
売上原価		
商品期首たな卸高	4,738	3,869
当期商品仕入高	3,121	3,249
合計	7,859	7,119
他勘定振替高	7	4
商品期末たな卸高	3,869	3,259
商品売上原価	3,983	3,855
売上総利益	4,406	4,682
返品調整引当金繰入額	—	1
返品調整引当金戻入額	1	—
差引売上総利益	4,407	4,681
販売費及び一般管理費	4,213	4,387
営業利益	194	293
営業外収益		
受取利息	1	—
受取配当金	—	0
貸倒引当金戻入額	—	22
雑収入	5	—
その他	0	7
営業外収益合計	6	30
営業外費用		
支払利息	31	13
手形売却損	4	4
たな卸資産処分損	2	—
支払手数料	29	27
その他	0	1
営業外費用合計	69	46
経常利益	132	277
特別損失		
固定資産除却損	—	2
店舗撤退損	15	11
減損損失	30	43
訴訟損失引当金繰入額	1	—
その他	—	0
特別損失合計	47	58
税引前当期純利益	84	219
法人税、住民税及び事業税	59	89
法人税等調整額	—	△130
法人税等合計	59	△41
当期純利益	24	260

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余 金合計	その他利 益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余 金合計		
当期首残高	3,972	3,069	1	3,070	△1,587	△1,587	△3	5,453
当期変動額								
資本準備金の取崩		△1,587	1,587	—				—
資本剰余金から利益剰余金への振替			△1,587	△1,587	1,587	1,587		—
剰余金(その他資本剰余金)の配当			—	—				—
当期純利益					24	24		24
自己株式の取得							△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計		△1,587	—	△1,587	1,611	1,611	△0	24
当期末残高	3,972	1,482	1	1,483	24	24	△3	5,477

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計	
当期首残高	12	12	5,465
当期変動額			
資本準備金の取崩			—
資本剰余金から利益剰余金への振替			—
剰余金(その他資本剰余金)の配当			—
当期純利益			24
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△10	△10	△10
当期変動額合計	△10	△10	14
当期末残高	2	2	5,480

当事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余 金合計	その他利 益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余 金合計		
当期首残高	3,972	1,482	1	1,483	24	24	△3	5,477
当期変動額								
資本準備金の取崩		△488	488	—				—
資本剰余金から利益剰余金への振替			—	—	—	—		—
剰余金(その他資本剰余金)の配当			△149	△149				△149
当期純利益					260	260		260
自己株式の取得							△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計		△488	339	△149	260	260	△0	110
当期末残高	3,972	993	340	1,334	285	285	△3	5,588

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計	
当期首残高	2	2	5,480
当期変動額			
資本準備金の取崩			—
資本剰余金から利益剰余金への振替			—
剰余金(その他資本剰余金)の配当			△149
当期純利益			260
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	7	7	7
当期変動額合計	7	7	118
当期末残高	10	10	5,598

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	84	219
減価償却費	65	80
減損損失	30	43
訴訟損失引当金繰入額	1	—
固定資産除却損	—	2
店舗撤退損	15	11
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	△28
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△1	1
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	0	7
為替差損益 (△は益)	0	0
支払手数料	29	27
支払利息	31	13
売上債権の増減額 (△は増加)	△100	85
たな卸資産の増減額 (△は増加)	868	610
仕入債務の増減額 (△は減少)	47	110
その他	△35	42
小計	1,043	1,228
支払手数料の支払額	△45	△27
利息の支払額	△30	△12
法人税等の支払額	△20	△89
支払手数料の戻入額	—	7
その他	△18	△4
営業活動によるキャッシュ・フロー	928	1,101
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△42	△32
定期預金の払戻による収入	42	42
有形固定資産の取得による支出	△37	△87
無形固定資産の取得による支出	△1	—
敷金・差入保証金の差入による支出	△19	△26
敷金・差入保証金の回収による収入	68	35
その他	△4	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	4	△78
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,320	△380
配当金の支払額	—	△125
その他	△4	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,324	△510
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△392	512
現金及び現金同等物の期首残高	2,262	1,870
現金及び現金同等物の期末残高	1,870	2,383

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は宝飾事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
1株当たり純資産額	201.41円	205.77円
1株当たり当期純利益金額	0.91円	9.58円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
当期純利益金額(百万円)	24	260
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(百万円)	24	260
期中平均株式数(千株)	27,210	27,209

(重要な後発事象)

該当事項はありません。